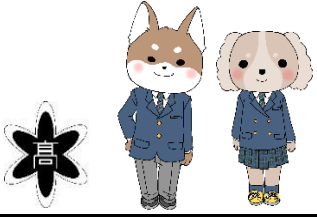


令和5年度 池田工業高等学校 学校評価表

86 長野県池田工業高等学校 全日制

学校教育目標
自らの力で問題を解決する実践力と地域に貢献できる創造力豊かな人づくりを目指す

重点目標
① 生徒一人ひとりの人権を尊重し、いじめのない安全で安心な学校づくりに向けた取組の充実を図る ② 各教科の指導、進路学習や就業体験等を通して、自己実現に向けたキャリア教育の充実を図る ③ 基礎知識の定着、資格取得、生徒会や部活動などの指導の充実を図る ④ 長期休業や放課後などに学習支援を行い、教科指導の充実を図る ⑤ 学校評価、授業評価のアンケート結果を生かし、授業改善と授業力の向上を図る



評価の内容					
領域	対象	評価項目	評価の観点(活動目標)	評価 (A・B・C)	コメント(具体的にお願いします)
教育活動	教務	行事運営の円滑な推進	各種行事について年間計画を作成し、円滑な実施ができたか	B	コロナ禍以前の活動に戻りつつあり活気がみられる。また、急な学年閉鎖による変更にも対応できた。
		地域に根ざした学校づくりにつながる機をとらえた情報発信	学校ホームページ等による効果的な情報公開・提供ができたか	A	定期的な行事内容を中心に池工日誌を更新することができ充実した内容となった。
			家庭との連携がスムーズにできたか オクレンジャーの活用及び報告・連絡・相談等	B	学校からの配布物等、学年主導で活用できた。また、クラスルームを利用した教科指導も充実することができた。
		安全対策の強化	危機管理マニュアルを周知・理解することができたか	B	年度当初に配布できた。また、緊急時の生徒、教職員の食料等の備蓄を整備することができた。
		校内学習環境の整備	生徒が落ち着いて学習に取り組める環境を整えることができたか	B	特別教室や図書館の空調設備の設置や網戸の設置等で学習環境が昨年度より充実した。
	進路指導	一人一人に合わせたキャリアの醸成	進路実現に向けた具体的かつ実践的な取り組みができたか	B	進路講話・ガイダンス・企業説明会を計画的に行い、進路実現に取り組んだ
		基礎学力の定着	長期休業や放課後などに学習支援を行い、学び、考え、成し遂げる習慣が身についたか	A	学年・教科と連携を図り、計画的に0時限・補習を行うことが出来た
		資格取得に向けた指導	実践的で創造的な技能・技術の向上。資格取得に向けた支援ができたか	B	進路学習の中で資格取得の重要性を伝えて実践するように促した
	生徒指導	安全・安心・充実した高校生活ができる学校づくり	マナーやエチケットの継続的な指導ができたか (自転車、交通ルールの遵守等)	B	HRや全校集会でマナーやエチケットを呼びかけたが、徹底するまでには至っていない現状である
			いじめ 問題行動 不登校への支援 職員の連携・情報共有ができたか	B	諸問題について職員全体への情報共有に努めたが、職員会の連携については課題が残った
	生徒会指導	生徒会活動・行事等の企画運営	主体的・積極的な取り組みとしての活動を支援できたか	B	計画的に行事を行えるように準備段階から生徒の取り組みを支援できたが、コロナ禍前の行事へどの程度戻していけば良いか探り探りの面もあり、今後の課題としたい。
		日常生活の充実	基本的な生活習慣を身に着ける支援ができたか(挨拶・制服のきこなし等)	B	1学期を中心に朝のあいさつ運動等を行えたが、なかなか継続するに至らなかった。
学校整備	環境整備	校内外の環境美化	毎日の清掃や校外朝清掃等を通して社会適応力の向上を図ることができたか	B	日常的な清掃についてはそれぞれの役割を果たしていた。しかし、清掃美化委員会等の活動は生徒減のため活発にできなかった、次年度以降の課題である。
	開かれた学校づくり	地域と連携した協働的な学び	授業公開や研究授業を実施し、地域や保護者の声に耳を傾けながら、授業改善や教員の指導力向上が図れたか	B	概ね達成できた。 更なる改善や向上を目指したい。
			中学生や保護者が本校の教育内容に興味・関心を持ち、本校受検につながるような情報発信を工夫できたか	B	ホームページを利用し、中学生や保護者が学校の様子ができるように学校行事などの写真を多く掲載するように心がけた。
			工業科の魅力を伝えるため、中学校訪問や進学説明会等の企画および内容について一層の充実が図れたか	B	中学校訪問の依頼方法を改善し、中学生に寄り添った説明を実施することができたが、入学希望者数の増加を見込めるものではなかった。来年度さらに改善していきたい。
	その他	職員の資質向上	授業アンケートなどから授業改善する工夫を試みることができたか	B	観点別評価から指導の在り方を振り返ったり、匿名性を担保したアンケート結果を真摯に受け止めて自己研鑽に努めた。
			校内外の研修会などに参加し、成果や情報を共有することができたか	B	非違行為ゼロに向けた研修やSCによる研修会等を実施し、情報共有に努めることができた。

評価 A:達成できている B:ほぼ達成できている C:あまり達成できていない